

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 幕末・開国

名前

得点

/8

**問1** 1842年、アヘン戦争で清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、外国船を武力で追い払う従来の政策を廃止しました。このとき、日本に漂着した外国船に対して薪（燃料）や水、食料を供給し、穏やかに退去させることを命じた法令を何と称しますか。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 薪水給与令                      2. 武家諸法度                      3. 鎖国令                      4. 生類憐みの令

**問2** 1840年に勃発したアヘン戦争において、勝利したイギリスが清との間で結んだ講和条約の名前と、その条約でイギリスが領有することになった地域の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 南京条約 — 香港                      2. 南京条約 — 台湾                      3. 下関条約 — 香港                      4. 下関条約 — 遼東半島

**問3** 幕末の政治情勢において、大老の井伊直弼による反対勢力の弾圧と、その反動として発生した井伊直弼暗殺事件、および薩摩藩が外国の軍事力を痛感し方針転換するきっかけとなった出来事を、発生した順に正しく並べたものはどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 安政の大獄 → 桜田門外の変 → 薩英戦争                      2. 桜田門外の変 → 安政の大獄 → 薩英戦争                      3. 安政の大獄 → 薩英戦争 → 桜田門外の変                      4. 薩英戦争 → 安政の大獄 → 桜田門外の変

**問4** 江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して外国船を排除していましたが、その後、清（中国）がイギリスに敗北したアヘン戦争の結果を知ると、その方針を大きく転換させました。このとき幕府が取った対応として、最も適切な説明を選択してください。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 遭難した外国船などに対し、薪や水、食料の補給を認める法令を出した                      2. アメリカと日米和親条約を締結し、直ちに下田と箱館の2港を開港した                      3. 鎖国を完全に廃止し、キリスト教の布教を含む全ての交流を自由化した                      4. 異国船打払令をさらに強化し、沿岸部での軍事演習を全国で義務付けた

**問5** 日本が幕末の動乱期にあり、薩英戦争などが起きていた1863年当時、アメリカ合衆国は大統領による指導のもとで内戦の最中にありました。この内戦の名称と、当時奴隷解放を目指した大統領の組み合わせとして正しいものはどれか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

1. 南北戦争 — リンカン                      2. 独立戦争 — ワシントン                      3. 南北戦争 — ジェファソン                      4. 南北戦争 — ルーズベルト

**問6** 幕末、長州藩は下関での外国船砲撃とその報復を受けて攘夷の限界を知り、薩摩藩もイギリスとの戦争を経て近代化の必要性を痛感しました。当初は対立していたこれら両藩を、土佐藩出身の坂本龍馬らが仲介して結ばせた軍事同盟の名称として適切なものはどれですか。（2018年 和歌山公立入試 類似）

1. 薩長同盟                      2. 公武合体                      3. 尊王攘夷                      4. 版籍奉還

**問7** 1858年に井伊直弼がアメリカと締結した日米修好通商条約において、日本側の主権が侵害されていたとされる「関税自主権」の問題について、その説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 鳥根公立入試 類似）

1. 輸入品にかかる税率（関税）を、日本が独自に決めることができず、相手国との協議によって決めなければならなかったこと。                      2. 輸出入の総額を幕府が制限することを禁じられ、すべての品物を無税で流通させなければならなかったこと。                      3. 日本国内で外国人が商売を行う際、その利益に対して日本政府が一切課税できなかったこと。                      4. 港での検疫や入港手続きをすべて外国の役人が行うため、日本側が手数料を受け取れなかったこと。

**問8** 1860年の横浜港における輸出額の統計では、ある品目が全体の約66パーセントという圧倒的な割合を占めていました。この品目の輸出が急増したことで、当時の国内経済にどのような影響を与えましたか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 生糸の輸出が盛んになったことで、国内での供給が不足して原料の価格上昇を招き、絹織物業者に打撃を与えた。                      2. 茶の輸出が急増したことで、農村での生産が拡大し、綿織物業者が新たな事業として絹織物生産に参入した。                      3. 綿糸の輸出量が増えたことで、国内の綿製品の価格が大幅に下落し、一般庶民の生活水準が向上した。                      4. 米の輸出が制限なく行われたことで、都市部の米価が安定し、幕府の財政再建が成功した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>薪水給与令</b>	幕府は清の敗北を通じて、西洋の軍事力を背景とした開国の圧力を察知しました。それまでの「異国船打払令」を継続することでイギリスなどの強国を刺激し、日本が戦争に巻き込まれることを防ぐ目的で「薪水給与令」が出されました。これにより、日本の対外政策は一時的に柔軟化することとなりました。
問2	<b>答え 1</b> <b>南京条約 — 香港</b>	イギリスはアヘンの没収をきっかけに清へ軍事侵攻を行い、アヘン戦争を引き起こしました。1842年に締結された南京条約では、香港の領有のほか、上海などの5港の開港や多額の賠償金の支払いが定められ、清にとって極めて不利な内容となりました。下関条約は日清戦争の講和条約であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	<b>答え 1</b> <b>安政の大獄 → 桜田門外の変 → 薩英戦争</b>	大老の井伊直弼は、日米修好通商条約の無断調印などに反対する人々を「安政の大獄」で厳しく弾圧しました。これに反発した水戸藩の元藩士らが、1860年に「桜田門外の変」を起こして井伊を暗殺し、幕府の権威は大きく失墜することになります。その後、生麦事件の報復として1863年に発生した「薩英戦争」で、薩摩藩はイギリスの圧倒的な軍事力を目の当たりにし、武力による攘夷の不可能を悟って、イギリスへの接近と倒幕への道を選択しました。
問4	<b>答え 1</b> <b>遭難した外国船などに対し、薪や水、食料の補給を認める法令を出した</b>	アヘン戦争で大国である清がイギリスの軍事力に圧倒された事実は、江戸幕府に大きな衝撃を与えました。強力な軍事力を持つ西洋諸国を不用意に刺激して戦争になることを恐れた幕府は、1842年に天保の薪水給与令を出し、それまでの強硬な姿勢から、漂流船などへの人道的な支援を認める方針へと転換しました。
問5	<b>答え 1</b> <b>南北戦争 — リンカン</b>	アメリカの内戦である南北戦争（1861年～1865年）は、日本では幕末にあたります。1863年に奴隷解放宣言を行ったリンカン大統領は、ゲティスバーグでの演説において「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を残し、民主主義の理念を示したことで有名です。
問6	<b>答え 1</b> <b>薩長同盟</b>	ともに強力な軍事力を持っていた薩摩藩と長州藩が、共通の敵である幕府に対抗するために結んだ同盟です。これにより、それまで各藩がバラバラに行っていた倒幕運動が一つの大きな勢力となり、明治維新へ向かう強力な推進力となりました。
問7	<b>答え 1</b> <b>輸入品にかかる税率（関税）を、日本が独自に決めることができず、相手国との協議によって決めなければならなかったこと。</b>	関税自主権の欠如とは、自国に入る輸入品に対してかける税率を、自国の判断で決定する権利がない状態を指します。日米修好通商条約では、関税率が協定によって定められたため、日本は国内産業を保護するために税率を上げるといった柔軟な対応ができなくなりました。これと並んで、日本の裁判権が及ばない領事裁判権の容認も、当時の日本が主権を完全に行使できない不平等な状態であったことを示しています。
問8	<b>答え 1</b> <b>生糸の輸出が盛んになったことで、国内での供給が不足して原料の価格上昇を招き、絹織物業者に打撃を与えた。</b>	幕末の開港後、日本の生糸は国際市場での需要が高かったため、横浜港からの輸出額の大部分を占める最大の輸出商品となりました。しかし、大量の生糸が海外へ流出したことで国内市場では深刻な生糸不足に陥りました。その結果、原料となる生糸の価格が急騰し、それまで国内向けに生産していた絹織物業者が原料を調達できなくなるなどの深刻な影響を受けました。